



くりはら

# 市議会だより

第74号

令和4年8月1日

953

補正  
予算

家畜飼料の高騰支援に

3193万円

2分

臨時議会

ため池安全対策に2億円

3分

一般質問

個人質問20人登壇

6分

「くりでんKD95乗車会」

(旧若柳駅にて)

「私もひとつ」

高橋 みかさん(鶯沢)・佐々木 智さん(金成)

16分

# 補正予算

## コロナ禍での支援策

### 家畜飼料の高騰支援に3193万円

6月定例議会では、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援事業や、ため池での事故を受け、農業用施設や市道の緊急修繕料などが盛り込まれた補正予算が提案されました。議会は、予算特別委員会での審査結果のとおり、全会一致で原案を可決しました。

#### 主な支援事業

##### 家畜飼料高騰の対策支援

3193万円  
飼料価格高騰で、畜産経営の継続に影響が出ていることから、畜産農家に1頭

当たり肥育牛4300円、繁殖牛1800円、乳用牛4000円、養豚1100円、養鶏1羽当たり80円の緊急的な支援を行います。想定経営体は610件で1経営体の助成額の上限は50万円です。

##### 学校給食費の食材高騰対策

2046万円

生活物価の高騰に伴い、市立学校、福祉型児童発達支援センター、幼稚園、保育所の給食に使用する食材費も影響を受けています。保護者に新たな負担を求めることなく、食材高騰への対策を行います。併せて私立幼稚園や認定こども園にも支援を行います。想定は46施設です。

福祉施設など特別支援金の給付 3905万円  
高齢者福祉施設、障害福祉施設および児童福祉施設などの利用者がサービスを継続して利用できるよう、事業者に対して経営の安定に役立てるよう支援金を給付します。想定は390施設です。

##### 住民税「均等割のみ課税世帯」くらし応援金

1億127万円

原油価格や電気・ガス料金など、物価高騰の影響を受けた低所得者世帯の負担を軽減します。2000世帯を想定し、1世帯当たり5万円を支援します。

##### 指定管理料の調整助成金

2700万円

指定管理者が管理している公共施設は、施設の運営だけではなく、コミュニティの拠点や観光、産業、教育、防災などの役割を担っています。新型コロナウイルス感染症による利用者減少や原油価格高騰に伴う電気・燃料価格の上昇による収支の影響を緩和し、雇用の維持や事業の継続に寄与します。上限額は1施設1500万円です。

#### 請負契約

次の2件は、低入札価格調査制度を適用し入札が執行されています。

##### (仮称) 栗原東大橋

##### P1・P2橋脚工事

方法 一般競争入札

金額 4億4550万円

相手方 宮城建設 株式会社(栗原市)

##### 市道大林線地盤改良工事

方法 一般競争入札

金額 2億7005万円

相手方 宮城建設 株式会社(栗原市)

危険個所に500万円追加

4月5日に発生した、ため池の水難事故を受け、農業用施設や市道などで、緊急対策が必要な危険個所に対応するための修繕経費を追加します。

#### 低入札価格調査制度とは

あらかじめ設定された調査基準価格を下回る入札があった場合、その入札価格で適正な履行が可能か否かを調査し、落札者を決定する制度です。

#### 北分署 救急車更新

金額 2112万円

相手方 宮城トヨタ自動車株式会社 築館店



飼料高騰に悩む畜産農家

# 表彰

第98回全国市議会議長会の定期総会において、長年にわたる市政の振興に努めた功績により表彰されました。

議員 25年以上



菅原 勇喜 議員

議員 20年以上



佐々木 嘉郎 議員

# 条例改正

## 選挙運動の公費負担を増額

### 議会議員および市長の選挙運動 公費負担の改正表

(単位：円)

公費負担項目	現 行	改正後	単価差額
自動車借上料 (1日当たり)	15,800	16,100	300
自動車燃料費 (1日当たり)	7,560	7,700	140
ビラ (1枚当たり)	7.51	7.73	0.22
ポスター (1枚当たり)	1,557	1,592	35

市議会議員および市長の任期は4年です。4年に一度執行される議会議員および市長の選挙運動にかかわる、選挙用自動車の借上料とその燃料費、また、ビラおよびポスターの公費負担は、公職選挙法

により市では議会議員および市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例で規定しています。令和4年4月6日の公職選挙法施行令の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

## 臨時議会 4月26日

4月5日に発生したため池の水難事故を受け、対策として看板や柵の設置にかかる経費を追加した補正予算が議会に提案されました。また、併せて3月16日に発生した福島県沖地震による、道路や施設復旧にかかる経費、新型コロナウイルス感染症にかかる支援策と、イノシシ被害にあった小田ダム湖畔パークゴルフ場修繕にかかる経費も補正予算に計上され、議会はこれらを全会一致で可決しました。



ため池に設置されたネットフェンス

### ため池の安全対策に2億円

市で管理する農業用ため池の緊急点検を行い、対象となるため池210か所のうち、安全対策が必要と判断されたため池は195か所になります。遮水シートが設置されて

いるため池には安全ネットの設置、ネットフェンスなど立ち入り防止柵の設置、注意喚起の看板の設置を行うこととしており、これら安全対策にかかる経費は全体で2億円になります。

### コロナ支援策に およそ2億円

新型コロナウイルスの影響に対する支援事業の経費として、2億2165万円を追加しました。

#### 主な支援事業

- Go湯くりはら 温泉5割引キャンペーン 4140万円
- ビジネスホテル等得キャンペン 1400万円
- 地元商店等応援補助事業 6000万円
- 中小企業等事業継続応援支援金 7320万円

#### 小田ダムパークゴルフ場 修繕経費を追加

イノシシ被害を受けた芝などの修繕に1770万円を追加しました。

## イノシシ侵入防止対策 ワイヤーメッシュ柵の設置

産業建設



捕獲わなの設置状況を調査

鳥獣被害対策について調査しました。

### 調査の結果

イノシシによる被害が増加する中、侵入防止対策としては、被害が特に多い花山・一迫・栗駒地区で、国の交付金を活用し、イノシシの侵入を防止するワイヤーメッシュ柵が設置されました。設置後、柵内に侵

入された形跡などは見られませんが、効果の検証を継続すべきと考えます。また、県が地域の合意形成や計画策定を支援する事業が、高清水地区で実施されました。この事業では、その地域の被害状況や問題点を共有し、合意形成や計画策定に向けた研修会や検討会が実施され、諸会合には女性の方々

も参加し、活発な意見交換が行われており、この事業によって、令和4年度にワイヤーメッシュ柵の設置が予定されています。今後もワイヤーメッシュ柵を必要とする地域が増えると思われ、支援制度のさらなる周知徹底を図るとともに、合意が形成された地域には、市が積極的に支援を行うべきと考えます。

さらに、市が電気柵などの設置に対して支援する農作物有害獣被害防護設備設置事業補助金についても、年々交付件数が増加しており、今後も要望の増加が予想されることから、継続した支援を望みます。

捕獲対策としては、囲い罠・自動捕獲システムを設置していますが、捕獲実績が少ないことから、捕獲頭数の増加に向け、効果的な設置を図られるよう研究されることを望みます。

これまでに講じてきた鳥獣被害対策の効果を検証しながら積極的な情報共有を図り、より効果的な対策方法を研究し、市内の被害を最小限に抑える取組の実施に努めるべきです。

## 未利用市有財産の有効活用と歳入確保を

総務



市有地の売却などを調査

市有地の売却などについて調査しました。

### 調査の結果

遊休地、閉校学校、法定外公共物などの市有地の売却は、それぞれの手順に沿って、売却に努められています。

しかし、売却を予定している土地や普通財産として貸付している市有地、特に空き市有地の管理に関しては、誰もが簡単に立ち入らないように立札やロープを張るなどの対策を講じるとともに、定期的に見回りを

し、現状把握と安全管理に努めるべきです。

今後も、未利用市有財産の有効活用と歳入の確保のため、公共施設最適化計画に沿って市有財産の管理を図るべきです。また、建物などはそれぞれの所管部署の管理となっており、売却に至っていないケースも見受けられるので、企業誘致や移住定住を進めるためにも、それぞれの部署が管財課としっかり連携を図り、早期処分(売却)につながるよう努めることを望みます。



### 所管事務調査とは

総務・産業建設・文教民生の各常任委員会が所管する事務について、委員会が自主的に行う調査です。

市政の課題解決に向けて調査を行い、市長などの執行機関に対し、政策提言などを目的に実施するものです。

# 市内初の幼保連携型認定こども園を調査

文教民生



「若柳認定こども園」を調査

**若柳認定こども園について調査しました。**  
**調査の結果**  
市内初の幼保連携型認定こども園である「若柳認定こども園」は、指定管理者の「一般社団法人 吉野学園」によって運営されており、市の教育方針や保育理念を踏まえながら、独自の理念を生かした教育が行われています。保育・教育目

標の実現のためには、家庭や地域との関わりが重要であることから、連携を密にとりながら目標実現へさらに邁進してほしいと考えます。  
また、障害のある子どもや外国人の受け入れ体制など、多様性に応じた園の運営にも努めてほしいと考えます。

# 充実した研修内容で教育のレベルアップ

教育研究センターについて調査しました。

## 調査の結果

教育研究センターでは教育に関するさまざまな研修を行っており、その中でも、算数・数学や英語などの授業づくりに関する研修を行っています。効果として、研修や授業公開で学んだ内容が授業で活かされており、市内全体に定着してきています。今後も学校間で情報共有しながら、市の教育レベルアップに向け努力してほしいと考えます。

また、昨年度から導入されているタブレット端末は、多くの授業で活用されており、持ち帰り学習など授業以外の場面でも活用されています。  
今後タブレット学習を進める中で、さまざまな課題が見えてくるのが予想されます。教育研究センターにおいては、現場の声などを聴き、課題の解決や、より効果的な活用方法を模索しながら研修内容の充実を図ってほしいと考えます。

# 意見書

6月定例議会では次の意見書が提出され、全会一致で可決し、関係大臣などに提出し、その実現を要請しました。(要約して掲載)

## 学校給食費の無償化を求める

平成28年3月、内閣府の経済財政諮問会議において、子育て世帯などの支援拡充として学校給食費無償化の方針が打ち出された。

学校給食費は、給食の実施に必要な施設や設備に要する経費などを除き保護者負担とされるが、公立小・中学校における負担額は、学校への納付金の中で最も高額である。市でも小学校5万円、中学校5・8万円ほどで総額2億円もの負担である。給食を貧困対策だけでなく、子育て支援や少子化対策として位置づけ、全額または一部補助する自治体も増加しているが、平成29年度の文部科学省の調査では、小学校または中

学校で無償化を行う自治体は全体の約5%にすぎない。給食の役割や目的として、食育の推進を規定しているように、教育活動の一環という観点からも、また、家庭の経済状況に関わらず、栄養バランスの取れたおいしい給食を提供するという観点からも、無償化は子どもの健やかな成長のために非常に重要である。

よって、政府および国会に対し、財源の確保を含め国の責任において、全ての市町村で無償化を実施できるように強く要望する。

## 提出先

- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 文部科学大臣
- 衆議院議長
- 参議院議長

## 陳情書

女性スペースを守る会  
—LGBT法案における「性自認」に対し慎重な議論を求める会—  
共同代表 飯野 香里  
ほか3人

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情  
海事振興連盟  
会長 衛藤征士郎

## 要望書

鳴子温泉郷のくらしとこれからの考える会  
代表 曾根 義猛  
ほか2人

沖繩を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情  
辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会  
代表 漆山ひとみ

中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情  
井田 敏美

# 陳情

6月定例議会に6件の陳情が提出されました。

コロナ感染拡大防止策に関する陳情書

津田 紳二



## 愛される地域通貨に

### 市長／栗原モデルの構築に向け検討



あべ まさみつ 議員 阿部 貞光

**議員** 地域通貨導入に当たり法定通貨と異なる価値や地域コミュニティの連携などどのような将来像を描いているか。また運営母体は

**市長** 県の商圈消費購買動向調査報告書では、栗原市

民の44・4%が市外で買い物をしている。地域の活性化を図るには、地域内での消費購買額を増やし経済を循環させることが喫緊の課題であり、地域通貨は特定の地域やコミュニティ内だけで利用できるもので、地域経済や地域コミュニティを活性化させる効果が期待される。現金チャージや買



地場産品・生活用品も地域通貨でお買い物

**議員** 2種類の带状疱疹ワクチンが承認されている。しかし接種費用が高額で負担が大きい現状だ。本市の発症者数は、症状によってはかなりの痛みや日常生活にも支障をきたす病気である。市民を守るためにも予防接種助成を行うべきでは



さとう けんじ 議員 佐藤 健



## 不登校解消の取り組みは万全か

### 教育長／声かけや励まし相談を実施



今日も元気に登校

**議員** ①不登校の現状・要因・解消策。②不登校特例校の現状。③「栗原ともに学び合う会」への支援。④一迫商業高校の今後の方向性が年度内に示される。中学校の進路指導、高校魅力化プロジェクトの設置はどうか。

**議員** 子宮頸がんワクチン接種の対象と接種後の相談、ケア体制が必要である。

**教育長** ①30日以上欠席のうち不登校は小学校15人、中学校83人。「生活リズムの乱れ」、「無気力・不安」、「友人関係」など。生徒指導部会やケース会議の実施、日頃から声かけや励まし、担任・スクールカウンセラーが児童生徒や保護者と教育相談を行っている。②授業時間数減、学年を超えた学級編成が可能、小グループ指導や個別学習を設定。富谷市立富谷中西成田教室が開設。③毎月第1・第3土曜日市民活動支援センターで活動中。会と協議検討する。④高校進学は、公立は市・県内25校412人、県外5校16人、私立は県内13校43人、県外8校16人。上級学校調査、職業体験など通じ、主体的な進路選択と自己の人生設計能力を養うよう指導している。市としてプロジェクトを設置することは考えていない。



みつづか 三塚 議員



## 若い英知をまちづくりに活かせ

### 市長／若者の意見を市政に反映



若者の創造力が街並みを活性化

**議員** 若者の政策を推進するため、若者の意思や意見が伝わる機会を確保し、若者が自ら行動することで若者が活躍できるまちづくりを目指した「若者議会」を開催すべきではないか。

**市長** 市政に次代を担う若者の新しい観点や発想を反映させることは、「市民が創る」から「市民が作る」の実現につながる認識する。市はこれまで、まちづくりの総合計画などの策定で

**議員** 若者の政策を推進するため、若者の意思や意見が伝わる機会を確保し、若者が自ら行動することで若者が活躍できるまちづくりを目指した「若者議会」を開催すべきではないか。

**市長** 利用者へのアンケートの結果、「自己負担の軽減」や「利用区域の拡大」を望む意見が多くあった。一方、約9割の人から満足との回答を得たので、当面は現行の条件で実証実験を継続していきたい。

### 「待ったなし」デマンド見直し

**議員** 乗合デマンド交通は、隣接する商業圏への運行。また、実証実験中のタクシー初乗り助成の増額や利用回数の見直しは「待ったなし」である。一刻も早く見直すべきではないか。

**市長** 乗合デマンド交通は、隣接する商業圏への運行。また、実証実験中のタクシー初乗り助成の増額や利用回数の見直しは「待ったなし」である。一刻も早く見直すべきではないか。

社会人や高校生を対象とした若者ワークショップや中学生を対象としたアンケート調査などを実施し、若者の意見を反映してきた。また、一迫商業・岩ヶ崎高校の生徒から「若者の移住・定住促進」や「商店街の活性化」に対する斬新なアイデアなど、若者視点での提案をもらっている。今後も、若者議会を含め若者が提案できる場を設ける方法を考えながら、より多くの若者の意見を聞き、市政に反映していきたい。



## 地域医療について

### 市長／地域医療の継続に期待している



まつよし 勝義 議員

**議員** 萩野診療所は築60年を超えて、老朽化が進んでいる状況。耐震診断対策は行われているか。

**市長** 国が定める耐震診断基準では、建物が3階以上となっており。現時点では診断は行っていない。

### 一級河川の管理の在り方

**議員** 診療所の件で地域住民からの要望書があったと思うが、その対応は。

**市長** 老朽化や施設移転の要望書や意見を行政区長からもらっているところである。医療継続のため今後とも期待しているところで、機会をとらえ先生の考えを聞きに行きたいと考えている。



老朽化が進む「萩野診療所」

**議員** 診療所の件で地域住民からの要望書があったと思うが、その対応は。

**市長** 老朽化や施設移転の要望書や意見を行政区長からもらっているところである。医療継続のため今後とも期待しているところで、機会をとらえ先生の考えを聞きに行きたいと考えている。

**議員** 一級河川熊谷川については、県において伐採撤去を実施してもらっているが、さらなる河川整備への働きかけを願いたい。

**市長** 熊谷川の管理について、志波姫熊谷・大平・間海地区住民代表より、要望書が出されており、市としても状況確認の上、県に伝えている。また、志波姫南郷地区においても堆積土砂撤去を予定しており、工事契約を済ませ着手に向け進めていると聞いている。今後なお強く要望していく。



## 時代に即した入札制度を導入せよ

### 市長／令和6年より総合評価方式を導入



きくち ひろし 議員  
菊地 広志

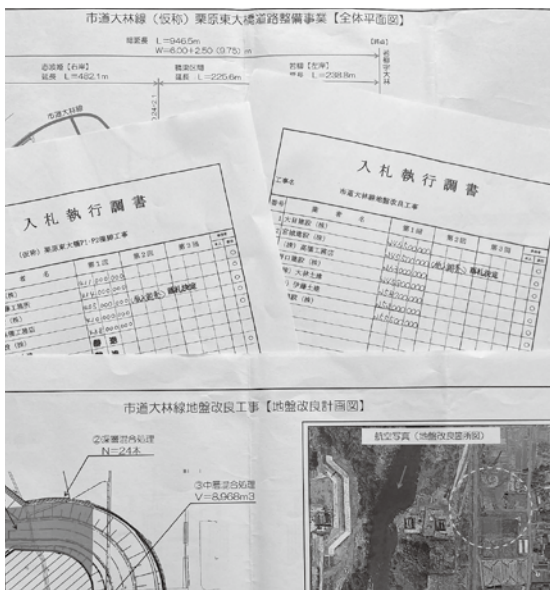
**議員** 現市長に代わってからはまだ、総合評価方式の入札は行われていない。入札方式の基本的なスタンスを変えたのはなぜなのか。

**市長** 官製談合事件が発生したことを機に、談合防止

策として低入札価格調査制度に取り組むため、令和元年度以降の工事は低入札価格調査制度での入札執行だ。

**議員** 国や県、大崎市や登米市も総合評価方式の入札が一般的だが、栗原市だけが総合評価方式を標準化していないのはなぜなのか。

**市長** 今は総合評価方式を試行中だ。工事の中から選んで総合評価方式で入札執行する。評価項目に入札



工事概要図と入札執行調書

参加業者が対応する準備期間が必要なので、令和6年度から正式に導入予定だ。

**産婦人科・小児科開設補助金**

**議員** 産婦人科・小児科医院開設補助金が無くなっていった。この施策は市で開業し、地域医療を担っていた。だくための施策だと思いがなぜ廃止したのか。

**市長** 昨年度まで助成事業への問い合わせが数件あったが、開業に向けた具体的な相談は無かった。制度見直しのため4月で廃止した。

**議員** 事業を廃止する場合は議会への説明および、市民に市のウェブサイトなどで、丁寧に廃止の理由を説明すべきだと思うが。

**市長** 当該事業は制度見直しのため一旦廃止した。令和4年度当初予算書では、債務負担行為の調書から削除している。今後事業を廃止の場合は丁寧に周知する。

## 「生きる力」を育む教育を目指せ

### 教育長／探求型学習で志教育の充実と推進



さわべ ゆきひろ 議員  
澤邊 幸浩



生きる力を育む「学府くりはら」

**議員** 昨今の子どもたちを取り巻く社会環境を鑑みると、いじめ、学力格差、SNSなどでの情報氾濫など、「二こころの問題」は喫緊の課題といえる。「子どもたちに生きる力を育む」ために、偏差値や学力テストの点数だけにとらわれない、生きる力を育む「学府くりはら」独自の教育を施す必要があるのではないか。

**教育長** 各学校においては、生きる力を確実に育成する

ために、「自分で課題を見つけ、自ら考え判断して問題を解決する確かな学力」「自らを律しつつ、他者と協調して行動する豊かな心」など、自力解決を行う学習に取り組んでいる。

**議員** 瀬峰飛行場は、開港から46年が経過し、いまだ滑走路の延長もなされていない。誇れる地域資源を有効に使い、瀬峰飛行場が地域活性化に寄与し、急速に進む、情報・物流・産業の変化に対応できるように、滑走路の延長を望む。

**市長** 滑走路延長事業については、飛行場は民間の管理所有であり、その整備は民間が主体で行うことが基本である。市はあくまでも側面から支援する。

**議員** 世界情勢の中、小麦の需給ひっ迫などを背景に米粉への期待が高まっている。今後、栗原市において、米粉用米の生産振興や、米粉加工設備への支援など、普及するべきと思うが。

**市長** 米粉用米については、需要拡大が期待されていることから、6次産業化も含め、普及について、多方面の声を聴き検討する。





みうら よしひろ  
三浦 善浩 議員



## 子どもの弱視 早期発見を

### 市長／屈折検査の実施に向け準備を進める



フォトスクリーナー（イメージ）

**議員** メガネなどを使っても十分な視力が得られない弱視の子どもは50人に1人ほどいるとされ、目の機能が発達する6歳ごろまでの早期発見・治療が欠かせない。弱視の発見には3歳児健診の際、専用機器を用いて屈折異常（ピントのずれ）などを調べる「屈折検査」が有効だといわれる。

①3歳児健診における弱視の見逃しは起きていないか  
②保護者へ視力検査（屈折

検査）の重要性の周知、啓発はどうか。③早期発見のため、3歳児健診の視力検査にフォトスクリーナーを導入してはどうか。

**市長** ①見逃しは起きていないものと認識している。②現在は実施していない。③令和4年度当初予算にフォトスクリーナー購入費用を計上し、購入に向けた手続きを行っている。

## 自主防災活動への補償は

**議員** いよいよこれから本格的な降雨シーズンを迎える。災害時、自主防災組織の活動の重要性も増してきている。①災害時に要支援者の人命を保護する自主防災の活動中、避難支援者が万が一事故や死傷した場合の補償はどうなっているか

②市内の自主防災組織が、安心して活動できるような補償にしてはどうか。



防災訓練の様子

**議員** 大規模自然災害が多発し自主防災組織の重要性はますます高まっている。高清水9区自主防災会は誰一人取り残さない避難訓練を行い、さらに栗駒四日町自治会と防災協定を結ぼう



おがた かつゆき  
尾形 勝通 議員

**市長** 模範となる事例だ。積極的に他の自主防災組織に情報提供する。また避難時の配慮事項、避難を支援する者、避難場所、経路などを明確に定めた個別避難計画を早期に策定する。

**議員** デジタル田園都市国

**議員** 次に、若者定住・移住政策について聞く。若者定住こそ栗原市最大の福祉と考える。そこで地域おこし協力隊の任期満了後の定住率向上のため、OB隊員などと交流会、相談の場を設ける。また、仕事と休暇を融合したワーケーションを推進するよう提言する。

**市長** 市の協力隊満了後の定住率は61・5%。移住定住コンシェルジュとの相談会を設ける。また、栗原の観光、農業体験などワーケーションプログラムを創る。

## 自主防災組織活動支援を強化せよ

### 市長／個別避難計画を策定し支援する

としている。この事例を横展開してほしい。また、一人暮らしや介護者など、要支援者の個別避難計画を策定するよう要望する。

家構想を推進する中で、市として実施計画が必要ではないか。また人材の確保と育成は。さらに、市長公約のスマート農業の推進に関わらせるか。

**市長** 国で策定される総合戦略に基づき推進計画を策定していく。また外部から人材登用を図っていく。さらに、スマート農業にデジタルを最大限活用する。



# 市民の声、地域の声の実現を

## 市長／年次計画を調整し事業を進める



議員 沼一 かにぬま かつたか

合は十分検討する。

**議員** 市道都田線今年度は45%である。残区間も今年度中に完了できないか見解を聞く。

**議員** 上田山苗圃跡地は面積が2・5畝である。パークゴルフ場に活用してはどうかという声があるが見解を聞く。

**市長** 地域で整備を行う場



上田山苗圃跡地をパークゴルフ場に

**市長** 令和4年度も土砂撤去を行う。今後も河川管理維持管理に努めたい。

**議員** 4月28日の河北新報の記事で、救急車が来て出発するまで40分の時間を要したとのことである。改善することは不可能なのか市長の見解を聞く。

**市長** 県が定める救急搬送実施基準に基づいて、病態などにより搬送する医療機関の選定を行っており、県や医療機関と協議しながら搬送時間の短縮に努める。

**議員** 令和3年9月定例会で一般質問しているが、有賀沢の用水路の件は、その後どうなっているか市長の見解を聞く。

**市長** 平成29年度と30年度に延長1482mの整備が完了し、進捗率は57・4%である。第2工区の延長、1100mについては、補助事業の年次計画などを調整しながら、引き続き整備を進めていく。

を

# 給食費無料化は支払いなしで行え

## 市長／地域通貨で還元



議員 勇喜 すがわら ゆうき



おいしい給食を作り届ける「給食センター」

②国の施策として行う事業であるが、国への実施働きかけはどのように行うのか。  
**市長** ①給食費をいったんご負担いただいた上で、地域通貨により還元するという手法を検討している。

これまでの徴収事務に加えて新たに地域通貨として還元するための事務が発生することになるので、教育総務課への職員の増員も検討する。地域通貨事業の運営体制は地元金融機関を運営母体とすることなど、市の現状に合った運営体制の構築を検討していく。  
②宮城県選出の国会議員へ要望している。

**議員** ①給食費無料化について市長は「いったん負担していただいた後、地域通貨で補助する」とのことだったが、これでは従来の給食費徴収事務のほかに、新たに地域通貨発行事務が発生する。行財政改革にも反するのでないか。子育て応援医療費助成事業のように「現金をもう出さなくてもいいよ」という制度にすることを求める。

他に「带状疱疹ワクチン助成制度の創設」、「自然を破壊しての風力発電計画に反対」との立場から市長の見解を質した。市長からは、「带状疱疹不活性化ワクチンの接種を今年度中に市立病院及び診療所において行えるよう体制を整える」、「風力発電については「地域住民の方が不安に感じている中で、進められることは好ましくないと考えている」と答弁された。



たかはし わたる 議員  
高橋 渉



## 25 人学級の進捗状況を問う

### 市長／実施に必要な教員を確保



きめ細かな授業を展開

**議員** 市長の公約である25人学級推進事業については、小学校および義務教育学校1・2年生は25人を標準とし、その他の学年は35人を標準とする学級再編成であるが、この事業費は全て市の財源である。市の財政が厳しさを増している状況において、この事業の主旨がはつきりと示されていない。

**市長** 25人学級を実施することにより、教員は一人一人の学力や学びに向かう気持を大切にしながら、きめ細やかな授業を展開することができる。児童にとっては、発言の機会や教員との対話の機会が増えることで、学習に対する意欲の向上が見込まれる。

**議員** 教員の確保が難しいと聞き及んでいるが。  
**市長** 全国的に教員は不足しているが、年齢要件を設けず、定年退職した教員を任期付市費負担教諭として少人数の編成に必要な教員を確保した。  
**議員** 正規の教員と任期付教員との給与の差は。  
**市長** 給与の差は生じるが、県の再任用職員と同じである。

### 給食費無料化の進捗状況は

**議員** 令和5年度から実施予定の給食費無料化の進捗状況は。

**市長** 給食費を一旦負担してもらった上で、給食費相当額を翌年度に地域通貨として還元する形を想定している。地元金融機関、関連団体と連携し、運営協議会を設置することなどを検討していく。



## 今後も集会施設助成事業の継続を

### 市長／目玉事業として継続したい



いがらし いさみ 議員  
五十嵐 勇

**議員** 集会施設助成事業の対象件数と築30年・改築案件の築40年経過の件数、また、当事業のこれまでの改築件数は。

**市長** 対象集会施設の総数は269施設、築30年経過施設は144施設、築40年経過施設は76施設。平成19年度から施行しており、今年度改築予定5施設を含め63施設である。

**議員** 令和4年度事業の追加助成の内訳と算定根拠は。  
**市長** 5施設建築面積区分に応じ、合計506万円追加、算定根拠は市営住宅建築に占める木材の割合を参考に6・6%と算出し、梁材を一番高い米松として、



解体間近の集会施設

**議員** 平方が当たり助成単価の追加措置については情報収集に努め、申請時に明記すべきと思うが。  
**市長** 木材価格の高騰が続いたことから5月に補助金額を決定、各地区と建設費など協議し、6月に交付決定した。今後も社会情勢の変化に応じて対応していく。  
**議員** 集落は高齢者世帯の増加など改築環境が厳しい状況、今後も継続事業として強く望むが市長の見解は。  
**市長** 市のコミュニティ育成の目玉事業と捉え引き続き継続したい。



## 私道の整備補助金制度新設を望む

### 市長／補助制度創設に向け前向きに検討



たかし 高橋 かつ 勝男 議員

**議員** 私有地を生活道路として共同利用されている個所はどのくらいあるのか。  
**市長** 合併後これまでに寄附の申出や舗装などの相談は10件ほどあったが、全体数は把握していない。



住宅地内を巡る私道（築館伊豆地内）

**議員** 私道を栗原市が無償譲渡を受ける条件とは。

**市長** 市では「栗原市私道等の寄附受領に関する要綱」を定めており、幅員が4メートル以上で舗装されていることや境界が明確であることなどで、不特定多数の方が利用し、公共性が高いことが前提で、実績はない。  
**議員** 県内では、私道整備に向けた補助制度を持っている自治体がある。本市も

補助制度の新設を求める。

**市長** 寄附要件に該当しなくても、公共性の高い私道もある。補助制度の創設に向けて前向きに検討する。

**議員** 納税組合への補助金使途見直しを巡って解散を決めた組合もある。なぜ変更が必要か。どのように変わったのか。また、現状のままを望む声があるが。

**市長** 納税貯蓄組合への補助金は、「組合の事務に必要な使用人の給料、帳簿書類の購入費等」と限定されている。また、市の監査においても指摘されている。変更点は、宿泊費や総会時の弁当代の見直し、実績報告書時に領収書の写しの添付を求めている。

**議員** 領収書の添付など、事務処理の煩雑を理由に解散を決めている組合もある。丁寧な対応、助言を望む。  
**市長** 使途内容の説明、利用しやすい事務費の考え方などを説明していく。

## 冬期にも栗駒に観光客を呼び込め

### 市長／安全な道路づくりを研究する



たかやま 嘉郎 議員



冬でも安全な道にしたい

**市長** 売れやすい価格も必要と認識している。  
**議員** 現在の合計特殊出生率はどうなっているか。

**市長** 令和元年1・25。  
**議員** 市総合計画では1・70の計画だ。困難では。

**市長** これまでの子育て支援策では、少子化は止められないところに来た。  
**議員** 耕英地区に計画しているキャンプ場はどのようなイメージか。

**市長** 自然を生かした比較的小さなものにしたい。RVパークも検討したい。  
**議員** イワナの釣堀をつくり、10月7日をイワナの日としてはどうか。

**市長** 参考にして整備計画を作っていきたい。  
**議員** 冬の5か月間は耕英地区には行きづらい。県道を上り専用、市道を下り専用など考えてもいいはず。

**市長** その案はいい。  
**議員** 雪の吾妻スカイラインに行った。無散水消雪道路は冬期凍らない。不凍液を利用して。冬の栗駒山に人を呼んでほしい。

**市長** 冬期安全に通行できる方策として研究したい。



たかはし すすむ 議員  
高橋 将



## ウェブスリー Web3シティを宣言せよ

### 市長／Web3の理解を深め対応したい



岩手県紫波町でWeb3タウンが表明された

**議員** 国では地方の少子高齢化、過疎化を解決する鍵としてWeb3推進の方針だ。日本全体が人口減少にあり、移住によるパイの奪い合いは根本解決ではない。本市の活動力を維持発展させるには、外部人材の能力活用が重要だ。Web3を用いることで地域を超えて人を繋ぎ地域活性へ繋げ。他市で事例が少ない、今こそがメリットを受け取れる最大のタイミングのため、

他に指定管理公募方法、ため池の事故防止、有機農業推進について質問した。

**市長** 他地域の事例も参考に考えていく。

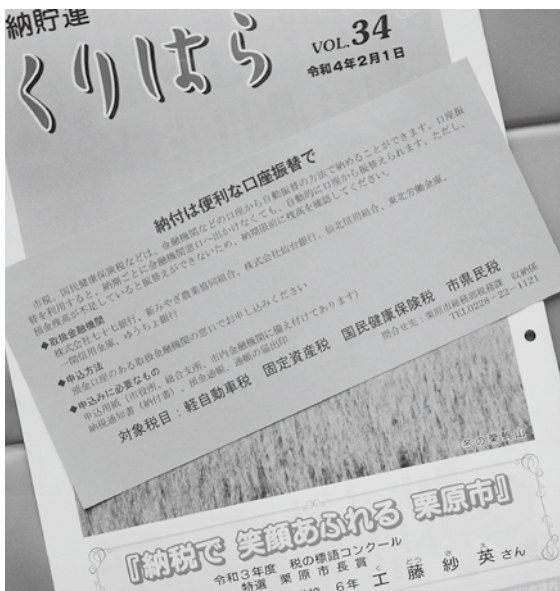
### 交付金見直し 減少分補填を

**議員** 水田活用交付金の対象見直しの影響で、農業へ3億2000万円の影響が出る。多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金などの支援拡充で減少分を補填する考えは、

### 脱炭素先行 地域へ連携を

**議員** 脱炭素先行地域へ向け企業と連携し調査を始めてはどうか聞く。  
**市長** 脱炭素に向け民間企業や地域住民などの意見を聞き、調査・研究していく。

Web3シティを宣言し動く時である。考えを聞く。  
**市長** Web3にて多様な人材がまちづくりに参加し地域課題の解決につながる。しかし、詳細について把握できておらず、情報収集に努め、理解を深めた上で対応していく。



口座振替を促すチラシ



## 納税貯蓄組合の育成強化を

### 市長／納税貯蓄組合法により補助金交付



さとう ふみお 議員  
佐藤 文男

**議員** これまで市の納税事業に一定の役割を果たしてきた納税貯蓄組合は、役員のなり手がいないなど存亡の危機にある中、市から交付される補助金の厳格化で地区のコミュニティ活動に

も影響を及ぼしている組合もある。  
**市長** 市では納税貯蓄組合をどのように評価し、今後どのようにしていく方針か。また、組合数は5年前と比べどうなっているか。解散した組合の主な理由は何か。

付の促進などの活動を継続して取り組んでいただきたいと考えている。  
組合数は全体で563組合から455組合となり、108組合減少している。  
解散の理由は、役員の高齢化に伴い、役員のなり手がいないことや、口座振替の普及、コンビニ収納開始などの納税環境の変化、さらには、近年のプライバシーに対する納税者の意識の向上などによって解散する組合が増えているものと捉えている。

**議員** 組合への加入率が減少傾向にある中、歯止め策として補助金方式から、事務負担の軽減および補助金の使途の拡充を図るため、委託方式に移行すべきと思うがどうか。  
**市長** 納税貯蓄組合法に基づいた事務補助金として交付すべきものと考えている。他に民生委員活動費の満額支給について質問した。



## マスク着用は義務なのか

### 教育長／熱中症のリスクを考え外す指導



すがわら まき 議員

**議員** 屋外で運動、活動をする時マスクを外す指導はしているのか。

**教育長** マスクの着用は十分な身体的距離が確保できる場合や体育、登下校などにおいて着用は必要ない。

外す指導も学校長などに通知済みである。

**議員** 通知しただけでなく現場での状況はどうか。また、報告は受けているのか。

**教育長** 今週初め（6月第4週）に全て周知が終わったところで細かい状況を把握していない。熱中症予防が第一と周知しているので熱中症対策に一番力を注いでいく。



体調を優先しマスク着用を

**議員** 市の経済がしばらく落ち込んでいるが、支援策の対象にならない地元企業をどのように考えるか。

**市長** 市内の商店・工場など中小企業の方々には敬意と感謝を感じている。これからの中小企業者などの方々に対し資金繰りに係る融資制度や利子補給など支援を継続していきたい。

**議員** 栗原南中学校の大規模改修について、追加工事はどこまでするのか。

**教育長** 追加工事する場所は保健室、校長室、職員室の3室になる。

**議員** 工事内容はどうか。  
**教育長** 床・壁および天井の張りかえを計画している。職員室の床はOAフロアにする予定である。

**議員** 備品に関してはどうか。  
**教育長** 備品は国の補助対象外だ。職員室の備え付けキャビネットは新しく設置する予定である。



## 本庁と支所の連携はとれているか

### 市長／地域要望は本庁と支所で調整する



おの きゆういち 議員



ため池の安全対策確認に回る地区民

そのことをもって総合支所の対応が悪かったと断言した。総合支所にはさまざまな事案を判断して対応するためにどれほどの権限が与えられているか。また、予算配分はいかほどか。

**市長** 総合支所権限については市の事務決裁規程による執行権限とともに必要な予算措置をしており、一例として500万円未満の委託料や工事請負費などは支所長の判断でできる。

予算配分については地域の要望などに優先順位を付して、本庁部局において支所間の調整を行った上で配分し事業を実施している。

### 末端一戸への現道舗装を

**議員** 末端一戸への道路改良や現道舗装が後回しにされているがなぜか。同じ栗原市民であり、納税者である。その件数は把握されているか。一戸対策の年次計画を立て対応していくべき。

**市長** 私もそのような相談を受けたことがある。同じ市民であり事業の緊急性や必要性・利用状況などを精査し実施していく。

**議員** 本年4月5日、市内のため池で児童が転落死するという事故が発生し、8日に議員全員協議会が開かれ市長の反省の弁と総合支所の判断が悪かったという主旨の話があった。その経過は12日前に近隣住民から、ため池の安全対策を求められたが総合支所ではすぐ対策を取らず、農林振興部との協議を優先したが、部内の新型コロナ感染で対応が遅れた。市長は



いしかわ しょうじゅん  
石川 正運 議員



## 改めて「道の駅」設置を問う

### 市長／経済活性化に資する施策を検討



道の駅に適す交通の要所

**議員** 国道4号バイパス、東北高速幹線道路、東北自動車道の接点となる所に、市内3か所目となる（仮称）栗原インターチェンジが、55億円を投じ完成に向け工事が進んでいる。高速体系にこれほど恵まれていることは強みであり、最大限の活用策として、交流人口増や地域活性化のよりどころになる施設、道の駅が一番ふさわしいと思うが、

**市長** 道の駅の整備は考えていないが、当該エリアは中核機能地域の整備基本構想で、商業観光拠点としている。栗原インターチェンジ整備の進捗状況を注視し、経済活性化に役立つ施策について検討していく。

**議員** 子育て支援の一環として安心して搾乳できる環境整備が大切なことから、課題解決に努め、早期に搾乳室の設置を実現すべき。

**市長** 市の整備状況は栗原中央病院、細倉マインパーク、若柳公民館。県有施設では栗原合同庁舎、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターに整備されている。授乳・搾乳に対応できるスペース確保のため、既存施設で子育て世代が利用する所を優先し整備に努める。

### 井守沢機場に除塵機設置を

**議員** 揚排水のため通年稼働しているが、ゴミや草が機場のプールに集積。除去のため高い所から手作業で行っている危険と背中合わせを打破すべきである。

**市長** 現場をもう一度確認し、機場の運転手などの話を聞き検討。



## 市民の声・期待にどう応える

### 市長／市民に寄り添い市政運営に努める



かみの よしまさ  
鹿野 芳幸 議員

**議員** 合併時に各地区で通常事業として計画されていた市民要望の多い市道、農道および農業用排水路の進捗状況と今後の見通しは。

**市長** 市道は、146路線のうち89路線、農道は15路線のうち12路線、農業用排水路は26地区のうち19地区で完了している。今後の見通しとしては、緊急性、必要性、財政状況など総合的に考慮し、取り組んでいく。

**議員** 生活道路整備は、市民の最優先要望でもある。今後も国の交付金はじめ年度内予算組み替えなどにより、早期整備に努めるべきと考えるが。

**市長** 生活道路の維持補修については、現行の制度では補助対象となる事業がないことから一般財源での対応となる。今後も、緊急性、必要性などに考慮し、予算内での調整や補正予算で取り組んでいく。

**議員** 市民の声として、防火、消雪、生活用水など地域用水としての利用は、冬期間でも必要であり、安心で安全なくらしの環境整備が求められている。流水量の増量について県全体で国への要望は考えられないか。

**市長** 新規の水利権取得には長期の調査、多額の費用を要する課題もあるが、多面的な水利の活用ができるよう国へ働きかけていく。



早急に改修が望まれる水路（つかえ棒で保護）

**議員** これからも市民の声・期待にしっかりと応えていくことが極めて大切であるが考えは。

**市長** 今後も市民の声にしっかりと耳を傾け、市民に寄り添った市政運営に努めていく。

## ないものねだり

「何もなし」と地元民から言われる栗原市。観光名所、伊豆沼の公共の宿に携わり9年目を迎えました。

多くの利用を占める海外や他県のお客様は、宝箱を開けるかの様に羨ましがられます。このギャップには、無いものねだりとして理解しつつも、本質がそこだと確信しました。唯一無二の景色や自然の食物や環境！今、多くの方に求められている「心とからだの健康」の源になるものが溢れています。目や耳、五感で心を癒し、自然の物を食し、薬膳そのものではないでしょうか。

栗原のおもてなしの中心になるところだと感じております。年齢の隔たりなく、市民皆で出来ることなので、一緒におもてなししてみませんか？



高橋 みかさん  
(鷹沢)

# 私もひとこと

## 繋ぐ



佐々木 智さん  
(金成)

祖父の代から牛を飼い始め、私も牛の世話をするようになり約5年、今年から私が牛を引き継ぐことになりました。

そんな中、栗原市の共進会で、私が飼育している牛が市の代表として、7月に行われる県大会に出場することになりました。10月に行われる牛五輪ともいわれる、全国和牛共進会への予選会です。この出場機会をいただき、牛に対する向き合い方が変わったように思います。

全国大会出場は逃したものの良い経験となりました。

昨今の国際情勢やコロナ禍で和牛を取り巻く状況も厳しいですが、肥育農家の方や消費者にも喜んでもらえる牛を作り続け、子どもたちへ繋げていきたいと思っています。

## あとがき

6月議会も活発な議論が展開され無事に閉会しました。先日市民の方から「傍聴には行けないけど議会だよりは必ず見えています」とお声掛け頂きました。紙面の制約上、全てをお伝えする事は出来ませんが、議会での様子を分かり易くお伝えする事が、広報編集委員の努めだと思います。市では議会中継のオンラインでの配信や、閉会後も議会中継を録画で観られる様に提供しています。今後もより良い紙面にする為、編集委員一同取組んで参ります。

### 発行責任者

長 藤 千昭

### 広報編集調査特別委員会

委員長 三塚 東  
副委員長 菅 原 紀  
委員 菅 原 麻 紀  
委員 鹿 野 芳 幸  
委員 澤 邊 幸 浩  
委員 小 野 浩 一  
委員 菊 地 志  
委員 佐 藤 悟  
委員 三 浦 善 浩  
委員 菅 原 勇 喜

